

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成30年10月25日(2018.10.25)

【公開番号】特開2018-142707(P2018-142707A)

【公開日】平成30年9月13日(2018.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2018-035

【出願番号】特願2018-64167(P2018-64167)

【国際特許分類】

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

C 0 7 D 209/86 (2006.01)

C 0 7 D 213/65 (2006.01)

C 0 7 D 213/16 (2006.01)

C 0 7 D 409/04 (2006.01)

C 0 7 D 277/66 (2006.01)

C 0 7 D 221/10 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/14 B

H 0 5 B 33/10

C 0 9 K 11/06 6 6 0

C 0 7 D 209/86

C 0 7 D 213/65

C 0 7 D 213/16

C 0 7 D 409/04

C 0 7 D 277/66

C 0 7 D 221/10

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月12日(2018.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有機エレクトロルミネセンスデバイスの発光層のホストマトリクス中のドーパントである式 L_2MX で表される燐光性錯体（式中、L 及び X は、異なるモノアニオン性二座配位子であり、M はイリジウムであり；配位子 L は sp^2 混成軌道炭素及び窒素原子により前記金属 M に配位しており；前記金属 M、各配位子 L の前記 sp^2 混成軌道炭素及び前記窒素原子を有する環が 5 個の原子からなる）。

【請求項 2】

前記配位子 L が、2 - (1 - ナフチル)ベンゾオキサゾール、2 - フェニルベンゾオキサゾール、2 - フェニルベンゾチアゾール、7, 8 - ベンゾキノリン、フェニルピリジン、ベンゾチエニルピリジン、3 - メトキシ - 2 - フェニルピリジン、チエニルピリジン、及びトリルピリジンからなる群から選択される、請求項 1 に記載の燐光性錯体。

【請求項 3】

前記配位子 L が、フェニルイミン、ビニルピリジン、アリールキノリン、ピリジルナフ

タレン、ピリジルピロール、ピリジリイミダゾール、及びフェニルインドールからなる群から選択される置換又は非置換の配位子である、請求項 1 に記載の燐光性錯体。

【請求項 4】

前記配位子 L が、置換又は非置換のアリールキノリンを含む、請求項 1 に記載の燐光性錯体。

【請求項 5】

ディスプレイデバイスに組み込まれた請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の燐光性錯体であって、前記ディスプレイデバイスが、乗り物、コンピュータ、テレビ、プリンター、大画面壁、掲示板、スタジアムのスクリーン、劇場のスクリーン、及び標識からなる群から選択されるシステム中に組み込まれている、燐光性錯体。